

栗劲
主编

白话四书五经

中

长春出版社

白话四书五经

(中)

《诗经》《礼记》

栗 劲 主编

长 春 出 版 社

《白话四书五经》编译成员

主 编 栗 劲

分卷主编 《大学》 裴泽仁
 《中庸》 裴泽仁
 《论语》 张文学
 《孟子》 王文祥
 《周易》 陈襄民
 《尚书》 陈襄民
 《诗经》 葛培岭
 《礼记》 裴泽仁
 《春秋左传》 管曙光

译者 (以姓氏笔画为序)

于	光	于	国	瑞	马	危	马	俊	杰
王	一	王	光	公	王	春	史	刚	
史	鉴	石	迁	谱	石	欣	石	颖	
古	明	古	流	满	观	众	刘	是	非
刘	勇	刘	童	学	朱	羽	朱	明	丁
谷	刚	谷	文学	政	李	子	李	立	
李	虚	李	张	今	李	僮	李	国	栋
李	文	张	张	峰	张	林	张	现	平
张	锋	范	力	敏	陈	玉	陈	襄	民
郑	敏	梁	玉	仁	范	达	金	宪	健
梁	虚	舒	泽	明	梁	谷	高	培	哲
舒	怀	裴	黎		葛	峥	葛	世	岭
裴	然				管	平	管		进
管	曙光				慧	玲			

目 录

诗 经

引言 (3)

国 风

周南

关雎 (6)

葛覃 (7)

卷耳 (8)

樛木 (9)

蟋蟀 (10)

桃夭 (11)

兔置 (12)

芣苢 (12)

汉广 (13)

汝坟 (14)

麟之趾 (15)

召南

鵲巢 (16)

采芣 (17)

草虫 (18)

采蘋 (19)

甘棠 (20)

行露 (20)

羔羊 (21)

殷其雷 (22)

標有梅 (23)

小星 (24)

江有汜 (25)

野有死麇 (26)

何彼裵矣 (26)

驂虞 (27)

邶风

柏舟 (28)

绿衣 (29)

燕燕 (30)

日月 (32)

终风 (33)

击鼓 (34)

凯风 (35)

雄雉 (36)

匏有苦叶 (37)

谷风 (38)

式微 (40)

旄丘 (41)

简兮 (42)

泉水…………… (43)

北门…………… (45)

北风…………… (46)

静女…………… (47)

新台…………… (48)

二子乘舟…………… (49)

邶风

柏舟…………… (49)

墙有茨…………… (50)

君子偕老…………… (51)

桑中…………… (52)

鶉之奔奔…………… (53)

定之方中…………… (54)

蟋蟀…………… (55)

相鼠…………… (56)

干旄…………… (57)

载驰…………… (58)

卫风

淇奥…………… (59)

考槃…………… (61)

硕人…………… (62)

氓…………… (63)

竹竿…………… (66)

芄兰…………… (67)

河广…………… (68)

伯兮…………… (68)

有狐…………… (69)

木瓜…………… (70)

王风

黍离…………… (71)

君子于役…………… (72)

君子阳阳…………… (73)

杨之水…………… (74)

中谷有蓷…………… (75)

兔爰…………… (76)

葛藟…………… (77)

采葛…………… (78)

大车…………… (79)

丘中有麻…………… (80)

郑风

缁衣…………… (81)

将仲子…………… (82)

叔于田…………… (83)

大叔于田…………… (84)

清人…………… (85)

羔裘…………… (86)

遵大路…………… (87)

女曰鸡鸣…………… (88)

有女同车…………… (89)

山有扶苏…………… (89)

蓼兮…………… (90)

狡童…………… (90)

褰裳…………… (91)

丰…………… (92)

东门之墀·····	(93)	唐风	
风雨·····	(93)	蟋蟀·····	(115)
子矜·····	(94)	山有枢·····	(116)
扬之水·····	(95)	扬之水·····	(117)
出其东门·····	(96)	椒聊·····	(118)
野有蔓草·····	(96)	绸缪·····	(119)
溱洧·····	(97)	杕杜·····	(120)
齐风		羔裘·····	(121)
鸡鸣·····	(98)	鵲羽·····	(121)
还·····	(99)	无衣·····	(122)
著·····	(100)	有杕之杜·····	(123)
东方之日·····	(101)	葛生·····	(124)
东方未明·····	(101)	采芣·····	(125)
南山·····	(102)	秦风	
甫田·····	(103)	车邻·····	(126)
卢令·····	(104)	驺虞·····	(127)
敝笱·····	(105)	小戎·····	(128)
载驱·····	(105)	蒹葭·····	(129)
猗嗟·····	(106)	终南·····	(130)
魏风		黄鸟·····	(131)
葛屨·····	(108)	晨风·····	(133)
汾沮洳·····	(108)	无衣·····	(134)
园有桃·····	(109)	渭阳·····	(135)
陟岵·····	(111)	权舆·····	(135)
十亩之间·····	(112)	陈风	
代檀·····	(112)	宛丘·····	(136)
碩鼠·····	(114)	东门之枌·····	(137)

衡门 (137)

东门之池 (138)

东门之杨 (139)

墓门 (139)

防有鹊巢 (140)

月出 (141)

株林 (141)

泽陂 (142)

桧风

羔裘 (143)

素冠 (144)

隰有苌楚 (145)

匪风 (145)

曹风

蜉蝣 (146)

候人 (147)

鸛鸣 (148)

下泉 (149)

豳风

七月 (150)

鸛鸣 (154)

采芣 (155)

破斧 (158)

伐柯 (159)

九罭 (159)

狼跋 (160)

二 雅

小 雅

鹿鸣之什

鹿鸣 (161)

四牡 (162)

皇皇者华 (164)

常棣 (165)

伐木 (167)

天保 (168)

采芣 (170)

出车 (173)

杕杜 (175)

鱼丽 (176)

南有嘉鱼之什

南有嘉鱼 (178)

南山有台 (179)

蓼萧 (180)

湛露 (181)

彤弓 (182)

菁菁者莪 (183)

六月 (184)

采芣 (186)

车攻 (189)

吉日 (191)

鸿雁之什

鸿雁	(192)
庭燎	(193)
河水	(194)
鹤鸣	(195)
祈父	(196)
白驹	(197)
黄鸟	(198)
我行其野	(199)
斯干	(200)
无羊	(203)

节南山之什

节南山	(204)
正月	(207)
十月之交	(212)
雨无正	(215)
小旻	(218)
小宛	(220)
小弁	(222)
巧言	(225)
何人斯	(227)
巷伯	(230)

谷风之什

谷风	(232)
蓼莪	(233)
大东	(235)
四月	(237)
北山	(239)

无将大车	(241)
小明	(242)
鼓钟	(244)
楚茨	(245)
信南山	(248)

甫田之什

甫田	(250)
大田	(252)
瞻彼洛矣	(254)
裳裳者华	(255)
桑扈	(256)
鸳鸯	(257)
蟋蟀	(258)
车鄰	(260)
青蝇	(261)
宾之初筵	(262)

鱼藻之什

鱼藻	(265)
采芣	(266)
角弓	(268)
菀柳	(270)
都人士	(271)
采芣	(272)
黍苗	(273)
隰桑	(275)
白华	(276)
绵蛮	(278)

瓠叶 (279)

渐渐之石 (280)

苕之华 (281)

何草不黄 (282)

大 雅

文王之什

文王 (283)

大明 (286)

绵 (289)

棫朴 (292)

旱麓 (293)

思齐 (294)

皇矣 (296)

灵台 (300)

下武 (301)

文王有声 (302)

生民之什

生民 (305)

行苇 (308)

既醉 (310)

鳧鷖 (312)

假乐 (313)

公刘 (315)

洞酌 (318)

卷阿 (319)

民劳 (322)

板 (324)

荡之什

荡 (327)

抑 (330)

桑柔 (335)

云汉 (341)

嵩高 (344)

烝民 (347)

韩奕 (350)

江汉 (353)

常武 (356)

瞻卬 (358)

召旻 (361)

颂

周 颂

清庙之什

清庙 (364)

维天之命 (365)

维清 (365)

烈文 (365)

天作 (366)

昊天有成命 (366)

我将 (367)

时迈 (367)

执竞 (368)

思文	(368)	丝衣	(378)
臣工之什		酌	(379)
臣工	(369)	桓	(379)
噫嘻	(370)	赉	(379)
振鹭	(370)	般	(380)
丰年	(370)		
有瞽	(371)	鲁 颂	
潜	(371)	驹	(380)
雍	(372)	有駟	(382)
载见	(372)	泮水	(383)
有客	(373)	閟宫	(386)
武	(373)		
闵予小子之什		商 颂	
闵予小子	(374)	那	(392)
访落	(374)	烈祖	(393)
敬之	(375)	玄鸟	(394)
小毖	(376)	长发	(395)
载芣	(376)	殷武	(397)
良耜	(377)		

礼 记

引言	(403)	3. 檀弓上	(424)
1. 曲礼上	(405)	4. 檀弓下	(440)
2. 曲礼下	(417)	5. 王制	(457)

6. 月令	(470)	28. 仲尼燕居	(650)
7. 曾子问	(485)	29. 孔子闲居	(653)
8. 文王世子	(496)	30. 坊记	(656)
9. 礼运	(503)	31. 中庸	(663)
10. 礼器	(512)	32. 表記	(664)
11. 郊特性	(520)	33. 缙衣	(674)
12. 内则	(530)	34. 奔丧	(679)
13. 玉藻	(543)	35. 问丧	(683)
14. 明堂位	(554)	36. 服问	(686)
15. 丧服小记	(558)	37. 闲传	(688)
16. 大传	(564)	38. 三年问	(691)
17. 少仪	(567)	39. 深衣	(693)
18. 学记	(574)	40. 投壶	(695)
19. 乐记	(579)	41. 儒行	(698)
20. 杂记上	(594)	42. 大学	(702)
21. 杂记下	(601)	43. 冠义	(703)
22. 丧大记	(611)	44. 昏义	(705)
23. 祭法	(622)	45. 乡饮酒义	(708)
24. 祭义	(625)	46. 射义	(712)
25. 祭统	(635)	47. 燕义	(715)
26. 经解	(643)	48. 聘义	(717)
27. 哀公问	(646)	49. 丧服四制	(720)

诗 经

引 言

《诗经》是我国最早的一部诗歌选集。原名《诗》或《诗三百》，大约编成于春秋中期，其中包括从公元前十一世纪到前六世纪五百多年间的三百零五首诗歌。它受到主张“为政以德”的儒家学派的高度重视，被尊为“五经”之一，遂有今名。

《周礼·春官》中说：“太师……教六诗：曰风，曰赋，曰比，曰兴，曰雅，曰颂。”六诗又称六义，唐人孔颖达的解释是：“风、雅、颂者，诗篇之异体，赋、比、兴者，诗文之异词耳。”（《毛诗正义》）

风、雅、颂，是一种音乐分类，“风土之音曰风，朝廷之音曰雅，宗庙之音曰颂。”（郑樵《六经奥论》）实际上，“风”诗中也有少数出于贵族之手，“小雅”中也有一些民间歌谣，但一部时间跨度和空间跨度如此广远的诗集出现些许混淆和例外，应该并不妨碍它的基本性质。

风，即风土乐调。其中又分为十五国风：周南、召南、邶风、鄘风、卫风、王风、郑风、齐风、魏风、唐风、秦风、陈风、桧风、曹风、豳风。显然这是一种地域的划分。十五国风的全部地域约当今天之陕西、山西、河南、河北及湖北北部一带。

雅，意思是正。其诗多为贵族所作。这些贵族住在西周的京城镐京（地在今陕西西安市西南），其乐调是当时

的“中原正音”，故称雅。雅又有大、小之分，可能是由于使用场合不同，大雅用于国家的大典仪式，小雅用于一般的朝廷宴会。但也有人从音乐上解为大吕、小吕之异或新雅、旧雅之分，尚难确证。

颂，即歌颂、赞美。王侯祭祀时所用。清人阮元解“颂”为“容”，认为：“三颂各章，皆是舞容，故称为颂。”（《研经室集·释颂》）此论恐非。因为伴舞并非祭歌所独有，也说不上是祭歌的主要内容。颂又分周颂、鲁颂、商颂。周颂是周王的祭歌，鲁颂是鲁侯的祭歌，商颂则是殷商后代王公的祭歌。

赋、比、兴，是指诗的三种基本表现方法。朱熹《楚辞集注》中曾有简要解释：“赋则直陈其事，比则取物为比，兴则托物兴辞。”

赋，即直接的记叙、描写，这是诗的最基本的手法。明人谢榛曾对《诗经》中赋、比、兴各体所占的章数作过统计：“予尝考之《三百篇》，赋，七百二十；兴，三百七十；比，一百一十。”（《四溟诗话》）可以看到赋体的绝对优势。

比，即比喻、比拟。诗中大量运用，是一种重要的艺术方法。孔颖达解比义，实际上是局限于具体修辞，宋人朱熹则解之作为一种只叙述比喻，而将其意隐藏的方法。日人青木正儿认为，朱熹“把这一点指出来，不能不算诗学上的一种进步”（《中国文学概说》）。

兴，基本意思是起，是启发，因而也称起兴。比、兴的基本区别是明喻、隐喻之别，“比显而兴隐。”（刘勰《文心

雕龙》)在具体使用上,兴多用于发端,多侧重取义,较为婉曲,有时只是一种联想,有时则是一种象征。

《诗经》在我国文学史上占有极为重要的地位。其中描绘了宏阔深邃的社会生活画面,政治讽喻、生产劳动、家庭生活、爱情婚姻、战争行役、祭祀宴饮、英雄业绩、民族历史等等,无所不及。在艺术上,则创造了丰富多彩的表现手法,形象生动,语言优美,声韵铿锵,受到历代人们的喜爱,成为中国文学、特别是中国诗歌的宝贵源头。由此前进,中国诗歌得到了极其辉煌伟大的发展,使我国在世界上获得了“诗的国度”的美称。

本书译者仅就视野所及,努力吸收前人的研究成果,并力争反映当代学者的最新成就,有时则在一些疑难问题上作出个人的判断。在具体翻译中,则努力克服种种困难,争取译出诗意,译出情味。考虑到《诗经》原文多数是齐言诗,少数为长短句,译诗也即多数译为齐言诗,或五言,或六言,或七言,因诗而异;另外也不时译些参差之诗或错落之句,但一般不写成通常所见的自由诗,而是尽量顾及音韵。